

第3回極東国際経済フォーラム

勝 茂夫

世界銀行ヨーロッパ・中央アジア地域担当副総裁

ロシア極東地域の開発における優先課題と可能性:

世界銀行の役割

グリズロフ ロシア下院議長、サフォノフ極東連邦管区大統領全権代表、イシャーエフ ハバロフスク知事、ロシア連邦議会議員の皆様、中国の全国人民代表大会常務委員会財政経済委員会ウー・リトゥ副委員長、斎藤泰雄駐ロシア日本国大使、ハバロフスク州政府・議会の皆様、そして本日お集まりいただいた皆様。

この場にお招きいただき、高名なる皆様の前でのスピーチの機会を与えていただきましたことに感謝いたします。極東経済フォーラムはここ数年、アジア・大洋州地域の活力にあふれる国々が交流する年に1度の重要な行事となっています。その席で、皆様に世界銀行の展望をご紹介できますことを光栄に思います。

我々がこうしてハバロフスクに集まっている間にも、世界の金融・商品市場は混乱状態にあります。どの国もその影響を免れることはできません。また、単独でこの嵐を乗り切ることのできる国もありません。我々はみな同じ船に乗っているのです。我々が歩調を合わせることで迅速かつ効果的な対応をとることができるか、国際社会のシステムが試されています。また、喫緊の課題に対応するだけでなく、長期的動向も注視していかなければなりません。その意味で、今回のフォーラムのテーマである「2020年戦略：地域的側面」は、この地域の開発の優先課題についてまったく新たな地理的視点を共有するという点で注目すべきものであります。

ロシア極東地域は、世界最大の国際貿易・経済協力組織である APEC と地理的つながりの深い地域です。APEC の加盟国は人口 25 億人を擁し、GDP は合計で 19 兆ドルに上ります。APEC サミットが 2012 年にウラジオストクで開催されることも、決して偶然ではありません。私が一番強調したいのは、皆様の可能性を開く鍵は近隣諸国が握って

いるという点です。

地理と開発

11月、世銀は「*経済地理の再形成*」をテーマとする『世界開発報告 2009』を出版します。同報告書は、過去200年間の先進経済の発展が、**大都市、人と事業の高い機動性（経済活動への距離を短縮）、国家間の結びつき（世界市場へのアクセスを促進）**に依存してきたとしています。これらの要因は現在、中国、インド、東南アジアの成長の原動力となっています。労働者は経済機会の中心地に移動し、国際貿易を通じた経済統合が進むにつれ、国境はあいまいになりつつあります。

これらの調査結果からは、いくつかの意味合いを読み取ることができます。成長はそれだけではバランスが取れていないかもしれませんが、貧困層を取り込むことも可能であり、またそうでなければなりません。社会を構成するすべての人々が、生活水準の改善という形で、成長のもたらす利益を共有できるようでなければなりません。また、急成長が、現在我々の依存する環境を犠牲にしたものであってはなりません。この地域の経済的可能性を実現するための開発の優先課題とは何なのでしょう。貧困層をとりこぼすことなく、かつ持続可能なしかるべき開発政策を立案するにあたっては、地域の地理的特徴を考慮しなければなりません。ロシア極東地域の経済展望に、地理はどのような影響を与えるのでしょうか。この地域の潜在的経済力を解放するための開発の優先課題とは何のでしょうか。

ロシア極東地域の開発・貿易の可能性・制約・機会

ロシア極東地域の規模、鉱物資源の豊富さ、潜在的経済力は非常に大きいものです。極東管区はロシア連邦の領土の3分の1以上を占めています。隣接するイルクーツク地方コビクタの天然ガス確認埋蔵量は2兆立方メートルと世界最大級です。さらにチュコトカ、カムチャツカ、サハリンの膨大な石油埋蔵量についても現在調査が進められています。

にもかかわらず、650万人とそれほど多くない極東地域の住民の生活水準はまだ、こ

の豊富な潜在的な富を反映したものではありません。全体として、極東地域の1人当たり域内総生産は、サハリン州、サハ共和国（ヤクーティア）、マガダン州など天然資源に恵まれた地域のおかげでロシアの平均値を上回っています。しかし極東地域には、アムールスカヤ州やカムチャツカ州などいくつかの最貧地域もあります。極東管区の平均寿命はロシア国内で最も短く、ロシア全体の平均（66.6歳）をフルに3歳下回っています。

それではなぜ、資源の豊富さと社会的成果との間にこのような隔りがあるのでしょうか。極めて広い意味で、極東地域の開発の問題は市場へのアクセスの困難さという言葉で要約できます。これは人の移動についての問題であるだけでなく、物資やサービスの動きが起因する問題でもあります。極東管区には、金属、天然ガス、石炭などの資源増産や、サービス貿易拡大の大きな可能性があります。そのためには、主要市場への安定した輸送手段が不可欠です。

たとえば、ヤクーツクで生産される石炭は、主な需要源である中国までの鉄道輸送サービスが完備していないために、割高で未整備の道路輸送に今も頼っています。また、シベリア東部のタイシェトから中国の市場まで天然ガスを供給するための、イルクーツク州またはブリヤートリア共和国経由のガス・パイプラインもまだ建設されていません。

さらに、極東管区の輸送・物流について見ると、既存の資源採掘中心地と都市・市場群との結びつきさえ驚くほど希薄である上、急拡大する中国市場とのつながりも極端に限定的です。これは特に、ハバロフスク州やプリモルスキー州、アムールスカヤ州など中国国境に隣接する地域で顕著です。ある意味で、ロシアのこうした地域はカナダの米国境付近の地域と似ていますが、カナダの場合は、極東地域と対照的に、主に輸送・貿易・人口移動の面で米国市場と強く結びついているおかげで、はるかに繁栄しています。

この地域の強みは、その立地条件が好機に結びつくだろうということです。ロシア極東地域も他の地域と同様に、好機を活かし、成長を大幅に加速させ、住民の生活水準を向上させることができます。

貿易は地理的障害を克服することができます。この点はいくら強調してもしすぎることはありません。さらに貿易だけでなく、商品・資本、アイデア、ノウハウの交流、そして住民の可動性のない地域や国は後れを取りがちです。

長期的成長の要因としての貿易の重要性は、いまや開発経済学では十分に裏付けされた事実です。主要な開発成功事例では必ず、近隣市場や大規模市場との物流やつながりによって貿易が持続的に拡大しています。特にオーストラリア、カナダ、スウェーデン、そして中央アジア諸国など、地理的に不利な国々ではこの傾向が顕著です。

世界銀行による最新の経済調査の結果、極東ロシアは **WTO** 加盟による恩恵が一番大きい3つの地域のひとつとなる可能性が高いとされています。これは、主にサービス（例えば、あらゆる形態の輸送や電気通信）への外国直接投資拡大の可能性によるものです。その結果もたらされるであろう利益は膨大です。試算によると、**WTO** 加盟後の2、3年間で、極東の消費総額と国民一人当たり **GDP** は約 10%、国際輸出は 11% 伸び得るとされています。非熟練／熟練労働者への恩恵は、調査対象となった地域の中で最大となるでしょう。市場とのつながりを強めるであろう追加のインフラ投資が有効に実行されれば、極東経済の生産性拡大につながり、ひいては住民の所得や生活水準も改善されるでしょう。

ロシア極東地域の発展には政治的支援が確保されています。それはまさに**ロシア政府の地域開発政策における優先課題の1つ**です。難点としては、開発速度の遅さ、管区内やロシアの欧州部分とのつながりが希薄なこと、そして大規模な人口流出などを挙げることができます。

政府は輸送網や通信網（資源輸送のための航空交通、道路、鉄道）を改良するためのインフラ・プロジェクトをいくつか計画中です。これらは正当な優先課題です。重要なのは、極東管区の経済活動や生活水準に最も大きな影響を与えるインフラ上のボトルネックに焦点を当て、これらのプロジェクトを精力的に推進することです。その潜在的効果は莫大です。世界銀行が実施した、ロシアをはじめとする **CIS** 諸国の生産性拡大に関する最新の調査は、ロシア全体のインフラ・ストックを中進工業国のレベルにまで引き上げれば、ロシアの生産性は 1.4% 拡大するとしています。これは実に大きな効果であり、インフラや市場アクセスの困難さが成長への足かせとなっている極東地域では特に大きな効果が期待できます。

そこで、肝心なのは、どうすればこれらの優先課題を実際の業務として健全な方法で実行できるかです。これには相当規模の資金調達、技術的・組織的な資源の支出が

求められ、実施に当たってはいくつもの困難が立ちはだかるでしょうが、これらを極東地域が単独で負担すべきではありません。交通省の交通戦略によると、鉄道、航空、海上輸送の充実（ほかの地域とのつながり改善も含める）には、2010年から2015年だけで同地域に155億ドル（3875億ルーブル）の負担となります。

これからお話しするとおり、世銀には、極東地域がこれらの課題に対処するのを手助けする準備ができています。まず、この地域の開発優先課題における特に2つの分野を強調したいと思います。

- 極東管区内、そして同管区の近隣市場、中でも特に中国の人々や貿易との相互のつながりを促進することが決定的に重要です。極東地域が成長するためには、インフラや貿易を通じて、域内そして有望な貿易・成長機会を大きく拡大するであろう中国、日本、韓国など近隣諸国の国内市場との統合を図らなければなりません。国内市場だけに着目していたのでは不十分ですし、貿易・開発の重要な機会を逃すこととなります。これは特にハバロフスク地方について言えることです。
- 相互の結びつきを高めるための同地域の取り組みの例としては、大図們江イニシアティブ（GTI）を挙げることができます。この仕組みは、国連開発計画（UNDP）支援の下、中国、朝鮮民主主義人民共和国、モンゴル、大韓民国、ロシア連邦の北東アジア5カ国政府の協力を促進するものです。1995年の創設以来、同イニシアティブは経済協力のための独自の基盤として、加盟国間の政策対話促進、同地域の経済成長の基盤強化、生活水準の向上を促進してきました。また、GTIの進める域内協力は世界貿易や資本市場に効果的な形で参加するための重要な基礎的要素となっている上、同地域におけるエネルギーの確保、基本的インフラの整備、観光の促進、国際的環境基準の徹底促進に貢献しています。
- 極東地域の住民向け社会サービスを充実させることは、地域住民にとっても極めて重要であるだけでなく、新たな住民が移り住む動機ともなります。質の高い学校、病院、社会扶助パッケージ、そして基本的な社会サービスは、特に気候が過酷な地域で暮らす人々にとって極めて重要です。人はどこでも常に、子供を教育でき、医療環境が整い、経済的に将来性のある土地に移り住んでいくものだからです。

世銀グループの役割

世銀グループの主な使命は開発です。50年以上にわたり、当グループは各政府に対しあらゆるレベルで資金援助と助言を提供してきました。これまでの支援総額は6000億ドルに上ります。さらに重要なのは、各国独自の問題に対する解決策を打ち出すために、国際的な知識を提供していることです。

皆様は日本がかつて世銀の借入国であったとは思っていらっしゃるかもしれませんが、私はわが国で「密度」と「距離」の問題に取り組むために世銀が果たした有益な役割を証明することができます。1961年、世界最先端技術による鉄道プロジェクトの1つとして東京・大阪間にかの有名な弾丸列車を走らせる「東海道新幹線（新幹線プロジェクト）」の資金は、世銀の「日本国有鉄道」への貸出によってまかなわれました。世銀から日本への貸出は1966年に終了しました。1953年から1966年までに、世銀は日本に合計31件、8億6200万ドルの貸出を行いました。

農村部の道路も商業とつながりを促進するための高速鉄道と同様に重要です。世銀グループはチュバシュ共和国において、農村道路システム延長のための融資を地方政府に提供しました。農村部に暮らす人々を近隣と結びつけるためのコスト効果の高い戦略を策定するためには、助言も資金援助と同様に重要です。

最後に、アジアとヨーロッパの市場をより緊密なものとするため、世銀は現在、「欧州西部-中国西部国際横断回廊」のカザフスタン区間の建設資金を供与するため、プロジェクト融資としては過去最大となる22億ドルの融資を行う準備をしています。このプロジェクトは、市場アクセスと輸送効率を向上させることを目的とすると同時に、国際貿易・輸送の非物理障壁撤廃に向けた各国間の広範な対話の一部となっています。

世銀とロシアのパートナーシップ

変わり行く関係。 司法・税関改革から保健・教育・インフラ整備に至るまでの17件のプロジェクトに世銀が現在提供中の融資は18億ドルに上り、広大なロシアの隅々まで届いています。しかし2000年以降、ロシア連邦は高成長を維持しているため、現在は連邦レベルでの外部資金調達を必要としていません。それでも他のすべての国と同様、

ロシアは今も社会的・経済的課題に直面しており、政府のリーダーシップが求められています。モスクワでも全国の地域レベルでも、公務員は世銀グループの各国での経験や専門知識を活用しています。助言は、政策立案から人間開発・インフラ・制度への新たな投資の計画に至るまで多岐にわたります。さらに我々は、条件を満たす地域であれば連邦政府の保証なしで、地方レベルでの資金援助も行っています。

ロシア極東地域での実績。 ロシア極東地域の経済地理を考慮した場合、我々はこれまで、地域の地理がもたらす開発面での課題への取り組みをいかに支援してきたのでしょうか。

- **都市への支援：**ロシア極東地域で初めての地方向け貸出は、カムチャツカ州の州都ペトロパブロフスク-カムチャツキ市の行政サービスを支援するため、同市に連邦政府の保証なしで直接行ったものでした。
- **人と国を接続：**情報通信技術（IT）を通じたつながりは、世界経済での競争力における中心的要素であり、遠隔地域の教育も支援しています。世銀は、教育システムを、世界的な情報社会での最新の学習ニーズに合ったものにするというロシア政府の取り組みを支援するため、助言を行いました。同プロジェクトは特にハバロフスク州で成功を収め、情報通信技術が相当な遠隔地まで普及しました。このプロジェクトは、教員支援センターを40カ所に設立することにより達成されました。
- **貿易を通じた経済統合**は「税関改革」プロジェクトの中心的な目標に設定され、試験対象地域では、平均通関手続日数が5日から1日に短縮されたほか、検査用に採取される輸入品の比率が30%から3%にまで低下し、貿易の流れが大幅に促進されました。
- **気候変動への適応：**「水文気象観測所」プロジェクトのおかげで、ロシアでは、気象パターンの変化が原因で起きる自然災害に迅速に対応できるようになりました。2006年以降、洪水などの事態に迅速に対応できたことにより、推定168億ルーブルの財政節約が実現しました。新しい人工衛星基地がハバロフスクとチタに設置されたほか、「ハバロフスク水文気象観測所地域センター」には地域気象予報モデルの開発・運用を目的とした小型スーパー・コンピュータが設置されてい

るところです。また、ロシア国内で最も洪水被害が発生する危険性の高い河川の1つであるウスリー川流域では、水文気象観測網の近代化が進められています。

- **環境保護**：「持続可能な森林管理パイロット・プロジェクト」の下、世銀はハバロフスク州など、ロシアで最も火災の起きやすい7つの地域で森林火災管理システムを近代化しました。これらの地域では、森林火災が森林経済、生物多様性、そして人の健康に特に深刻な影響を与えています。ハバロフスク州はこのプロジェクトの最大の受益者であり、同州では、機械化された地区間森林火災消火隊による新しく、より効果的なシステムに2億7800万ルーブルが投資されました。現在では火災が24時間以内に鎮火することが増え、地上消火活動のヘクタール単位コストも低下しています。
- 制御不能の火災は、貴重な**アムールトラ**など、ロシア極東地域の貴重な生態系をおびやかすひとつの要因となっています。また、繰り返される野生生物の密猟や生態系の破壊も引き続き深刻な脅威です。このほど世界銀行がパートナー機関と設立した世界トラ・イニシアティブの開始記念式典では、ゼーリック総裁が、協調行動がいかにか大きな成果を上げるかの稀有な例としてアムールトラの保護に成功したロシアの取り組みに言及し、国際社会の注目を集めました。アムールトラというこの重要な種は、この地域の堂々たる象徴であるだけにはとどまりません。野生のトラの生存はこの地域の生態系の健全性を表すものであり、さらには地域の経済発展の持続可能性をはっきりと示しています。世界銀行は最近も、シベリアのバイカル湖やここ極東のシホテアリン山脈など、世界的に重要な生態系の生物多様性を維持するというロシアの国際公約も支援しました。ハバロフスク州では最近、大きな危険にさらされている森林生態系をより一層保護するためのプロジェクトが、地元NGOと地元自治体との協力により実施されました。
- 新たな**世界トラ・イニシアティブ**の下、我々は国際的なパートナーやほかのトラ生息国と共に、環境保護と野生生物保護という優先課題を同地域の持続可能な開発アジェンダ全体に効果的に組み入れるため、ロシアの連邦・地方当局、保護実務者、NGOが緊密に協力するよう期待しています。

結論

ロシア極東地域には明らかに大きな可能性があり、それは2012年のAPEC首脳会議で世界の知るところとなるでしょう。世銀としては、いつでも支援する準備ができています。ロシア連邦との現在のパートナーシップ戦略に基づき、我々は次の3つのレベルで支援を行うことができます。

- **地元レベル**- サンクトペテルブルクとカザンでの有意義な経験に続き、広範な経済発展や公共財政、インフラ整備のための官民パートナーシップを支援できます。
- **地域レベル**- 個々の州に対し、運輸・教育・保健セクターの改善や開発に必要なインフラを整備するための地方向け融資や助言サービスを提供できます。
- **国際レベル**-- このレベルでは、先見の明が求められています。多くの可能性があるからです。まずは国境を越えた持続可能な開発として、世銀総裁がワシントンで発表したイニシアティブに従って、我々は**アムールトラ保護**の取り組みに協力することができます。また、**ウラジオストク近くのルースキー島で2012年に開かれるAPECサミット**の主催者に、自治体のインフラや、地域投資機会分析の準備などで支援を提供することもできます。これは、G8サミットでのエネルギー安全保障政策の協議のために我々が連邦政府にバックグラウンドとして提供した支援と似たようなものになるでしょう。

グリズロフ ロシア下院議長、サフォノフ極東連邦管区大統領全権代表、イシャーエフ知事をはじめ本日お集まりの皆様。

我々はロシア極東地域を、ロシアとアジアの境であるだけでなく、より広い意味での大洋州地域へのゲートウェイだとみております。過去には、国境とはすなわち、分断点として障壁のようなものでした。ですが今では、文化と商業の出会う地点となっています。2012年にこの地に19カ国が集うとき、地理がまさに好機となることが気持ちの上で示されることになるでしょう。